

# 動物実験の理念「3R」 国内外の実践状況紹介

## 2団体合同のワークショップ

日本動物実験代替法学会とJAVAM(日本動物実験代替法検証センター)は14日、合同ワークショップ「動物実験の3Rにおける国際動向」を東京駒場キャンパスで開催した。このワークショップでは、研究機関や産業界、化学や化粧品等の団体などから動物実験代替法の国際動向や各組織における3Rの取り組みを紹介。また、ドイツ自由大学のHost Snieha氏が、欧米におけるコシニユーター解析などを利



用した新たな化学薬品・医薬品の安全性評価について発表した。日本チャールス・リバーの池田由也氏は「実験動物と動物実験に対する国内外の規制強化とその対応」について講演。日本では、実験動物に対して慰霊祭を行うなど、規制はなくても動物福祉を考えた動物実験を行っていたが3Rが明文化

され、動物実験に関し米やカナダが参加するICATM(International Cooperation on Alternative Test Methods)に調印。国際的な規制動向や新評価法の情報提供を目的としていることが発表された。花王の坂口吉氏は、同社で開発した皮膚感作性、眼刺激性試験についてOECDテストガイドラインへの収載を目指している。JAVAMではICATMとの共同研究で、日本で開催された試験法を5年間で10試験ほどOECDに申請したいと。また、エーザイの佐神文郎氏は「製薬業界の3Rへの取り組み」、日本化学工業協会の小刀慎司氏は「日化協の3Rへの取り組み」、日本化粧品工業連合会の坂垣宏氏は「粧工連の3Rへの取り組み」について紹介。組織内で、国際的な規制動向や新評価法の情報提供を目的としていることが発表された。花王の坂口吉氏は、同社で開発した皮膚感作性、眼刺激性試験についてOECDテストガイドラインへの収載を目指している。JAVAMではICATMとの共同研究で、日本で開催された試験法を5年間で10試験ほどOECDに申請したいと。また、エーザイの佐神文郎氏は「製薬業界の3Rへの取り組み」、日本化学工業協会の小刀慎司氏は「日化協の3Rへの取り組み」、日本化粧品工業連合会の坂垣宏氏は「粧工連の3Rへの取り組み」について紹介。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)メディカルカンパニーは、洛和会音羽病院正常圧水頭症センターの石川正恒所長と共同で、「特発性正常圧水頭症(INPH)の治療によって、対象患者が100人の場合、手術1年後で介護保険が1億4760万円削減できる見込みがあることを明らかにした。100人全てが介護保険を支給限度額まで利用した場合の試算ではあるが、石川所長は「社会経済学的な面でも重要」と、治療の重要性を語った。INPHの年間手術件数は約3000件だが、疫学調査の有病率(1:100)から患者数は約31万人と推定さ

# 特発性正常圧水頭症

正確に診断・治療すれば  
介護保険費用減らせる

水頭症は血圧が上がるがINPHは正常血圧であることを特徴としている。CTやMRIでは、脳室の拡大と共に、脳萎縮が見られる高齢者であるにも関わら

INPHは高齢者の水頭症で、歩行障害、認知障害、尿失禁を典型症状とし、何らかの原因で髄液の流れや吸収が障害され、脳室に髄液がたまって脳室が拡大することで発症。一般的な

ばれる開頭を伴わない脳外科手術で、歩行障害、認知障害、尿失禁を典型症状とし、何らかの原因で髄液の流れや吸収が障害され、脳室に髄液がたまって脳室が拡大することで発症。一般的な

ジョンソン・エンド・ジョンソンが試算

介護保険費用減らせる

石川所長は「INPHは高齢者の疾患であるため、手術して歩けるようになって見守りが必要という認識に変わりはありません。しかし、ご本人だけでなくご家族にも重要なことです。正しい知識をより広げ、認

新技術領域

3月11日

科学研究技術領域研究「電磁メタリアル」な

日本国際記念講演

国際科学技術財団は4月21日、第27回日本国際賞受賞記念講演会を有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町2-5-1)で開催する。今年度の受賞者4氏が自身の研究について講演。若者へのメッセージが聞かれるという。必要が事前に参加申し込み(500人)。日本同時通訳つき。